

## ネイティブポーキンエラスターーゼ

Cat. No. NATE-0211

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

脾臓エラスターーゼは、脾臓の腺房細胞で生成されるエラスターーゼの一種で、最初は不活性なゼイモゲンとして生成され、後に十二指腸でトリプシンによって活性化されます。エラスターーゼはセリンプロテアーゼのサブファミリーを形成し、アミドやエスチルを加水分解する活性部位で収束する2つのペータバレルドメインからなる独特の構造が特徴です。エラスチンは、臓器を結びつける結合組織の一種です。脾臓エラスターーゼ1はセリンエンドペプチダーゼであり、活性部位にアミノ酸セリンを持つ特定のタイプのプロテアーゼです。

#### 別名

EC 3.4.21.36、脾臓ペプチダーゼ E; 脾臓エラスターーゼ I; エラスターーゼ; エラスティム; セリンエラスターーゼ; エラスターーゼ-1; 脾臓ペプチダーゼ; ELA1

### 製品情報

#### 種

豚の

#### 由来

豚脾臓

#### 形態

タイプI、白色粉末; タイプII、タイプIII、凍結乾燥粉末、炭酸ナトリウムを含む。

#### EC番号

EC 3.4.21.36

#### CAS登録番号

39445-21-1

#### 活性

タイプI、> 15ユニット/mg; タイプII、> 4.0ユニット/mgタンパク質; タイプIII、> 1ユニット/mgタンパク質 (ビウレット)。

#### 緩衝液

H2O: 可溶性; H2O: 可溶性

#### 単位定義

1ユニットは、25°CでpH 8.0の条件下で、1.0 μmoleのN-スキニル-L-アラ-アラ-アラ-p-ニトロアニリドを1分あたり加水分解します。

### 使用法とパッケージング

#### 包装

タンパク質含有量に基づくパッケージサイズ

### 保管・発送情報

#### 保存方法

-20°C